

SKYMENU 活用授業 実践レポート

習志野市総合教育センター

名前	宮島 佑太	学校名	習志野市立大久保小学校
実施学年	小学校6年	教科	国語
单元名	きつねの窓		

《学びを深めたいポイント》

・作者の伝えたいことや自分がその作品から感じたことを共有し、グループで意見をまとめる。その後発表の時に見えるようにすることで、自分の考えが広がることにつながる。

《SKYMENU 活用のポイント》

・意見を発表ノートにまとめて、見えるようにすることで自分の考えだけでなく違った考えや似ているけど違う理由だったり、自分とは違う場所から読み取ったりと考えが広がる。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	・前時に書いたことを読んで、自分の考えを整理する。		
展 開	・3人1組のグループで話し合いをし、発表ノートにどんな意見があったかまとめる。	<p>～最後の作品の心～</p> <ul style="list-style-type: none"> 命の尊さを忘れないでねというメッセージ やさしいことをするとやさしいことが帰ってくる 大切な人との永遠の愛や一期一会を大切にすること <p>作品の心</p> <p>自分が感じたこと</p> <p>人間と動物の大切さや大切な人を忘る気持ち</p>	・できたものを随時共有することにより、それを見て自分の考えが広まった。
ま と め	・発表ノートを一覧でテレビに提示し、全体で作者が伝えたいことや自分が感じたことを発表する。		

《実践を振り返って》

- ・今回の実践の振り返り
- ・SKYMENUを使用することで、テレビを通して一覧で見ることや提出した課題を見童が見られるように設定することで見童自身の端末で見ることができ、見童の考えが広がりやすくなった。
- ・SKYMENUで行うことで見童の端末を制御でき、教師の注目させたいものやタイミングで見童の意識をそちらに向かせることができた。
- ・端末の問題か起動に時間がかかったり、途中画面が固まってしまうことがあったりとSKYMENU以外でのトラブルが起ってしまった。